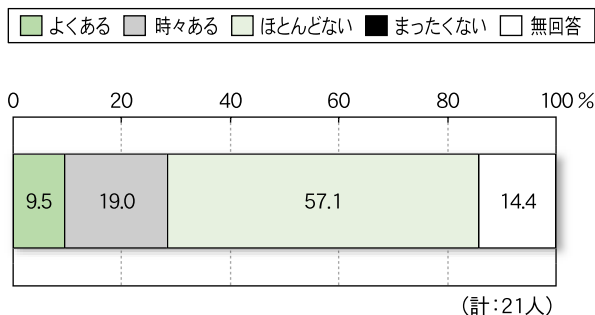


4 知的障害者調査の概要

③ 差別を受けた経験

障害があるために差別をうけたり、いやな思いをしたことがあるかたずねてみると、「よくある」(9・5%)と「時々ある」(19・0%)を合わせて約3割の知的障害者の人がこれまで何らかの差別を受けたり嫌な思いをしたことがあると答えている。



④ 障害者理解を深めるために必要なもの

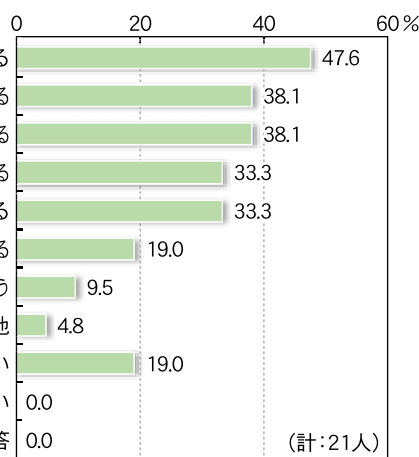
障害者に対する町民の理解を深めるために何が必要だと考えるかたずねてみると、「学校での福祉教育を充実する」と回答した人が47・6%と最も多く、次いで「障害や障害者問題に関する講演会や学習会などを開催する」と

「町の広報紙等で障害や障害のある人に対する理解をよびかける」が共に38・1%の順となっている。

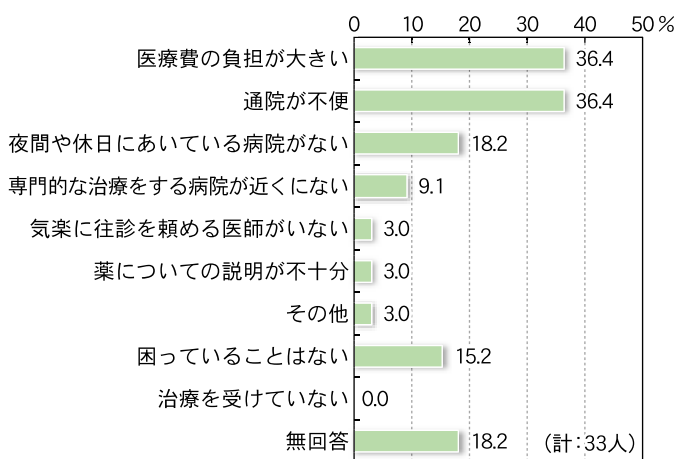
5 精神障害者調査の概要

⑤ 治療を受ける上で困っていること

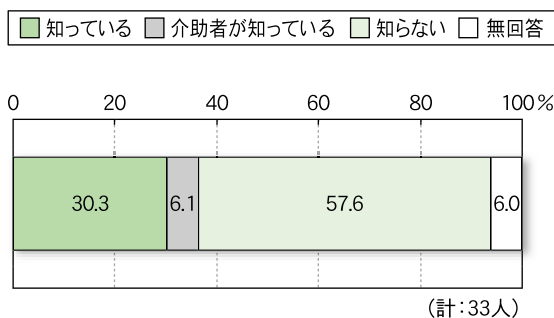
治療を受ける上で困っていることをたずねてみると、継続的な治療が必要なことから「医療費の負担が大きい」と「通院が不便」が共に36・4%と最も多くなっており、次いで「夜間や休



日にあいている病院がない(18・2%)、「専門的な治療をする病院が近くにない」(9・1%)の順となっている。



⑥ 避難場所・避難方法の認知度
避難場所や避難方法については、「知っている」と回答した人が30・3%となっており、「介助者が知っている」(6・1%)と合わせると36・4%の認知度となっている。



五霞町障害者計画及び障害福祉計画策定委員が決定いたしました



五霞町の障害福祉に関する施策の総合的かつ積極的な推進を図るため、町では障害者計画及び障害福祉計画の策定を進めており、そこで、その内容を審議する委員会の委員が選任されました。五霞町障害者計画及び障害福祉計画策定委員は次のとおりです。

選出区分	氏名
保健医療関係者	芝田 佳三
	矢畑 忠三
福祉関係者	松本 任弘
	高橋 靖子
	岡野 竹男
	鈴木 章司
学識経験者	齊木 勝
	松本 紀夫
	植竹喜美江
町民公募者	大木 昭三